

2021年4月
インターステラテクノロジズ株式会社

宇宙は誰もが関われる時代に。全産業参加型の宇宙開発プログラム「みんなのロケットパートナーズ」に新たに4社が加入、合計26社に

ー環境測定や3Dプリンターのものづくり企業から、M&A、デザイン企業まで他業界が参画ー



インターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町 代表取締役社長：稲川貴大、以下インターステラテクノロジズ）は、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」というビジョンを掲げ、「世界一低価格で、便利なロケット」をコンセプトとして、観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星打上げロケット「ZERO」を独自開発・製造しているロケット開発企業です。2019年3月に発足したインターステラテクノロジズのパートナーシッププログラム「みんなのロケットパートナーズ」に新たに4社が加入したことをお知らせいたします。オープンな宇宙開発をモットーとする当社は宇宙産業を日本の新たな産業にするために、他業界の企業・団体等が宇宙産業に参画できる仕組みや関わりしろをつくり、みんなの力で宇宙を目指します。また、2021年4月時点で「みんなのロケットパートナーズ」の加入企業・団体・大学は全部で26社となります。

今後も、本プログラムの趣旨や当社の事業に共感・賛同いただける企業や団体を募集し、当社のみならず日本の宇宙産業全体の発展と国際競争力の向上に向け、邁進していきます。

宇宙産業を、日本の新たな産業にしたい

「みんなのロケットパートナーズ」は、“宇宙産業を、日本の新たな産業に”という大義の元、2019年3月に立ち上げたパートナーシッププログラムです。従来、宇宙開発は国家事業として取り組まれていたため、一部の人たちに限定された閉ざされた業界となっていました。一方、世界的にはSpaceXをはじめとした民間企業による宇宙開発が本格化しており、国内でもロケットから人工衛星など多くの宇宙開発ベンチャーが生まれ、官から民への機運が高まりつつあります。宇宙は夢やロマンのイメージが持たれていますが、宇宙は成長産業です。2040年には宇宙ビジネスの市場規模は100兆円を超えるという試算もでており（*）、宇宙産業に興味や関心を寄せる企業・団体も増えています。

「みんなのロケットパートナーズ」は、全産業の方々に向けて、宇宙に関わる機会をご提供する仕組みです。日本に新たな産業を作るという未来を見据えながら、各企業が持つ技術やノウハウ、ネットワーク等を活かして、ロケット開発に参画いただきます。

*1：The Goldman Sachs Group, Inc. 「Space: The Next Investment Frontier」（2017年4月）、Morgan Stanley. 「Space: Investment Implications of the Final Frontier」（2017年10月）

ものづくり業界から、M&A、クリエイティブデザイン業界まで。
他業界から宇宙に参画。

《パートナー各社の支援内容》

エスペック株式会社



■ 会社紹介：

エスペックは環境試験器の世界トップメーカーです。当社は独自の「環境創造技術」を駆使して、最先端技術の信頼性を支え、人々の夢や豊かな社会の実現に貢献することを使命としています。日本のベンチャー企業によるロケット開発という壮大な夢に環境試験のベストソリューションで応援します。

■ 本社所在地：大阪市北区天神橋3-5-6

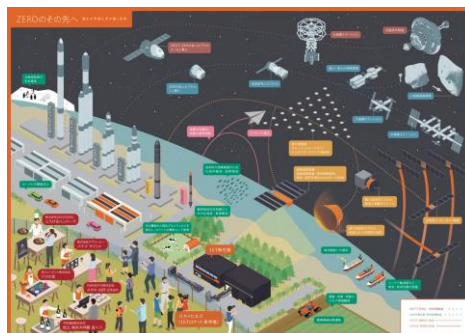
■ 代表：石田 雅昭

■ URL：https://www.espec.co.jp/

■ みんなのロケットパートナーズでの支援内容：

当社は、ロケットに搭載される通信機器や姿勢制御装置などの信頼性を評価するための受託試験サービスを提供させていただいております。ロケット打ち上げの際の振動や急激な温度変化を想定した評価試験に当社の振動試験機や冷熱衝撃試験装置が使用されています。

コモノ株式会社



■ 会社紹介：

コモノ株式会社は“economical network”をステートメントに、クライアントはもちろんのこと、自社を含めた関わるコミュニティ全体の成長に資する提案を行う、デザイン&ブランディングファームです。わたしたちの住む社会を少し良くしていく為に、力を合わせて「あたりまえ」をアップデートしていきます。

■ 本社所在地：北海道札幌市中央区北4条西17丁目1-11 吉田ビル

■ 代表：代表取締役 矢野 奨

■ URL：https://commono.co.jp/

■ みんなのロケットパートナーズでの支援内容

インターステラテクノロジズの商品パンフレットのリニューアルを担当しました。ビジョンやプロダクトコンセプト、MOMOとZEROの紹介はもちろんのこと、ZEROが打上がる先の未来をFUTURE VISIONのイラストとして表現。大型のロケットや有人飛行、子会社であるOur Starsが実施する人工衛星サービス展開、宇宙利用が進んだ社会をイラストで描きました。今後は、インターステラテクノロジズのクリエイティブ、デザイン等のサポートも行う予定です。

《パートナー各社の支援内容》

株式会社ストラタシス・ジャパン



- 会社紹介：ストラタシスは航空宇宙、車載、コンシューマ製品、ヘルスケアなどの産業向けの革新的な3Dプリンティング・ソリューションを提供するグローバル企業です。ストラタシス・ジャパンはストラタシスが製造する3Dプリンタおよび3Dプリンタ材料の販売やパーツ造形サービス（DFP）の提供を行っています。本社は東京都中央区で大阪に支店があります。
- 本社所在地：東京都中央区新川1-16-3 住友不動産茅場町ビル3階
- 代表：代表取締役社長 森 道明氏
- URL：http://www.stratasys.co.jp
- みんなのロケットパートナーズでの支援内容

インターステラテクノロジズが所有するストラタシス製3Dプリンタの保守および造形材料の支援を行っています。また、宇宙用途で認可(米国)を受けた3Dプリンタ (F900) や材料 (例：耐アウトガス・静電気散逸性材料 Antero 840CN03など) を用いたコンサルティング付き造形支援サービスを割引価格で提供しています。

株式会社バトンズ



- 会社紹介：国内最大級のM&A総合支援プラットフォーム「BATONZ」を運営。2021年3月現在、累計ユーザー数は105,000者超・累計成約数603件。承継後のリスクを低減した安全なM&A（第三者承継）ができる場を提供することで、「誰でも、何処でも、簡単に、自由に、M&Aが出来る社会」の実現を目指しています。
- 本社所在地：東京都千代田区丸の内1-8-2
- 代表：代表取締役兼 CEO 大山敬義
- URL：https://batonz.jp/
- みんなのロケットパートナーズでの支援内容：

国内最大級のM&A総合支援プラットフォーム「BATONZ」を運営。経営者や経営者候補である次の世代のためのインフラとして、バトンを受け取った人を応援しています。インターステラテクノロジズへは、みんなのロケットパートナーズに加入することで、バトンズが事業引継ぎを支援した次世代が宇宙事業の力を追い風に大きく羽ばたく日が来る時に向けてご支援を行います。

インターステラテクノロジズ 代表取締役社長 稲川貴大からのメッセージ

宇宙開発は従来国家による事業でしたが、「宇宙産業」と言われるように民間企業も参入し、世界中が注目する成長産業となり、大きなパラダイムシフトを迎えています。宇宙産業を日本の新しい一大産業とするには、人工衛星等のみではなくそれらを打上げるロケットの開発・製造が必要です。ロケットは、宇宙産業の基礎であり根幹です。この非常に新しくチャレンジングな開発と一緒に推進していくパートナーシッププログラムが「みんなのロケットパートナーズ」です。これまで宇宙開発には関わってこなかった事業者の方々が参入し、裾野が広がることで初めて宇宙は新産業になると信じています。幅広い分野の皆様のご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

インターステラテクノロジズは、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」を目指して、「世界一低価格で、便利なロケット」をつくりまします。観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する軌道投入ロケット「ZERO」を独自開発。2019年5月4日(土)、北海道大樹町で観測ロケット「宇宙品質にシフト MOMO3号機」を打上げ、民間企業が単独で開発製造したロケットとして国内で初めて宇宙空間に到達。

本社：〒089-2113 北海道広尾郡大樹町字芽武149-7 URL：<http://www.istellartech.com/>
取材に対する問い合わせ先：インターステラテクノロジズ株式会社 広報 中神美佳（なかがみ）/小林伸光
Mail：press@istellartech.com TEL：01558-7-7330